

ご報告：チリ共和国（サグラダ・ファミリア市） 消防車寄贈事業

平成27年度在チリ日本国大使館「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のもと、同国サグラダ・ファミリア市へ日本の自治体より無償譲渡いただいた消防車を寄贈しました。車両の現地到着後2016年9月、無事引渡しが完了しましたので、ご報告します。

<現地写真>

<p>1</p> <p><引渡式></p> <p>救助隊の所属するサグラダ・ファミリア市消防団第一分隊消防署にて</p> <p>当日は隊員のほか地域住民、学生なども集まり日本からの支援を喜んだ。</p>	
<p>2</p> <p><引渡式></p> <p>寄贈車両の新たな活躍を祈り車体へシャンパンボトルをぶつけて割る様子</p> <p>右後方にはこれまで運用してきた救助車両。</p>	

<p>3</p> <p><引渡式></p> <p>スピーチを行うクリスティアーナ・ブラボー知事</p> <p>知事は、「ボランティアで成り立つ消防団へ、このような救助工作車を寄贈していただき感謝している。火事だけでなく、事故、災害はもちろん、近隣市への出動においても日本の救助工作車が活躍するでしょう。」と述べた。</p>	
<p>4</p> <p><引渡式></p> <p>スピーチを行うマルティン・アリアガダ市長</p> <p>市長は、「サグラダ・ファミリア市内を走る国道では例年交通事故が頻発しており、救助工作車の寄贈により消防隊はいっそう活躍するでしょう。いつまでも大切に使うことを約束します。」と述べた。</p>	
<p>5</p> <p><引渡式></p> <p>スピーチを行う在チリ日本国大使館 折原茂晴参事官</p> <p>参事官は、「救助工作車が地震などの自然災害や交通事故から多くの人命を救うことを心から願っています。」と述べた。</p>	

<p>6</p>	<p><引渡し式></p> <p>寄贈車両のお披露目</p> <p>車両の門出を祝い、両側から消防隊が放水して歓迎を受ける救助工作車。</p>	
<p>7</p>	<p><引渡し式></p> <p>寄贈車両へ消防隊のバナーを取り付ける折原参事官</p> <p>隣で見守るのはマルティン・アリアガダ市長(手前)</p>	
<p>8</p>	<p><修了式></p> <p>折原参事官(中央)を囲み消防隊と記念撮影</p> <p>隊員達は日本への感謝の言葉と同時に、新しい車両を運用できる誇りと喜びを口にした。</p>	